2023 年度 授業計画(シラバス)

| 学 | 科 | 看護学科 | | 科目 | 区 | 分 | 専門分野 | 授業の方法 | | 講義 |
|-----|-------|-------------|--|-----|-----|----|------|-----------|----|------------|
| 科 | 目 名 | 終末期にある患者の疾息 | 患別看護 | 必修/ | 選択(| の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 | (1) 時間(単位) |
| 対 象 | . 学 年 | 2年次 | | 学期及 | び曜 | 時限 | 後期 | 教室名 | | 各教室 |
| 担当 | 教 員 | 伊藤 庸子 他 | 藤 庸子 他 実務経験と その関連資格 総合病院循環器系内科病棟に看護師として勤務 | | | | | | | |

《授業科目における学習内容》

終末期にある患者および家族のQOLを充実するために必要な知識・技術について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

授業参加状況、課題提出状況、筆記試験で評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

- ①系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院
- ②系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器 医学書院
- ③系統看護学講座 成人看護学4 血液·造血器 医学書院 ④系統看護学講座 基礎看護学4 臨床看護総論 医学書院
- ⑤系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院
- ⑥フィジカルアセスメントがみえる MEDIC MEDIA ⑦系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院

《授業外における学習方法》

疾患の解剖生理、病態生理を既修の授業に基づき復習しておく。授業内容を振り返り、ノートにまとめる。

《履修に当たっての留意点》

成人援助論は看護実践能力を養うことを目標にしており、基本から積み重ねた学習が必要となる。1年次の「病態治療学」 「成人看護学概論」の復習をして、授業に臨んでほしい。

| 授業の 方法 | | | 内 容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
|-------------|------|---------------------|--|------|---|--|
| 第 1 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 終末期患者の特徴を説明できる。 | | 授業内容をノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 終末期の特徴(全人的ケア、死の受容過程) | 教科書他 | | |
| 第 2 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 循環器疾患(心不全)のある患者の特徴と看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 循環器疾患のある患者の看護①(症状別看護) | 教科書他 | | |
| 第 3 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 循環器疾患(心不全)のある患者の検査・治療時の看護を説明 できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 循環器疾患のある患者の看護②(検査・治療) | 教科書他 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(白血病)患者の特徴と看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 4 | 莪形式 | 各コマに おける 授業予定 | 白血病患者の特徴と看護① | 教科書他 | | |
| 第 5 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(白血病)患者の特徴を捉え、検査・治療時 の看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 白血病患者の特徴と看護②(検査・治療) | 教科書他 | | |

| 授業の 方法 | | | 内 容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
|--------------|-----------------|---------------------|---|---------------|---|--|
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(白血病)患者の特徴を捉え、化学療法時の 看護を説明できる。 | lat at the co | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 6 □ | 彩形式 | 各コマに おける 授業予定 | 白血病患者の特徴と看護③(化学療法) | 教科書他 | | |
| 第 7 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(白血病)患者の特徴を捉え、造血肝細胞移 植時の看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 白血病患者の特徴と看護④(造血肝細胞移植) | 教科書他 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(再生不良性貧血)のある患者の特徴と看護 を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 8 🗓 | ^我 形式 | 各コマに おける 授業予定 | 再生不良性貧血患者の特徴と看護① | 教科書他 | | |
| 第 9 回 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(再生不良性貧血)のある患者の特徴を捉 え、検査・治療時の看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 | |
| | 我形式 | 各コマに | | 教科書他 | の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 第 10 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(悪性リンパ腫)のある患者の特徴と看護を 説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 悪性リンパ腫患者の特徴と看護① | 教科書他 | | |
| 第 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 血液・造血器疾患(悪性リンパ腫)患者の特徴を捉え、放射線 療法時の看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 11 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 悪性リンパ腫患者の特徴と看護②(放射線療法) | 教科書他 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 脳神経疾患(脳腫瘍)のある患者の特徴と看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| 12 | 彩形式 | 各コマに おける 授業予定 | 脳腫瘍患者の特徴と看護②(症状別看護) | 教科書他 | | |
| 13 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 脳神経疾患(脳腫瘍)のある患者の検査・治療時の看護を説明 できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 脳腫瘍患者の特徴と看護①(検査・治療) | 教科書他 | | |
| 第 14 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 呼吸器疾患(COPD)のある患者の特徴と看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 呼吸器疾患のある患者の看護①(症状別看護) | 教科書他 | | |
| 第 15 回 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 呼吸器疾患(COPD)のある患者の検査・治療時の看護を説明できる。 | | 事前課題:疾患の病態 生理、症状、検査・治療 | |
| | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 呼吸器疾患のある患者の看護②(検査・治療) | 教科書他 | の学習をして臨む。 事後課題:授業内容を ノートにまとめる。 | |